



住吉区の 都市景観資源紹介

住吉区の 都市景観資源紹介

大阪市では、平成 15 年度に住吉区の都市景観資源（旧・指定景観形成物）1 件を登録するとともに、平成 22 年度に住吉区の都市景観資源の発掘のため、「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成 24 年 3 月 30 日に 27 件を都市景観資源に登録しました。また、令和 2 年 5 月 15 日に 1 件を追加登録しました。

しゅうきょうほうじんすみよしだいしや A 宗 教 法 人 住 吉 大 社



- 所在地 大阪市住吉区住吉 2 丁目 9 番 89 号
- 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日
- 概要 草創は神功皇后の海外渡航時の安全祈願の故事に由来すると伝えられるが、現在の本殿 4 棟は、文化 5 年（1808 年）造営されたもので、桧皮葺き・切妻造り妻入りの住吉造りと称され、市内唯一の国宝建造物である。境内には、慶長 11 年（1606 年）に架設され住吉大社の象徴ともいえる朱塗りの太鼓橋（反橋）をはじめ、重要文化財の石舞台や南門・東西楽所などや、全国から献灯された石灯ろう 600 余基などもある。

あびこさんたいしょうかんのん じ つうしょう かん のん 1. 吾彦山大聖観音寺（通称あびこ観音）



- 所在地 大阪市住吉区我孫子 4 丁目 1 番 20 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 正式には「吾彦山」、寺号を「大聖観音寺」と称し、日本最古の観音信仰道場・厄除けの寺として有名。昔、この地に住んでいた依羅吾彦（よさみのあびこ）という勢力のある一族が、百済の聖明王から身の丈約 5cm の小さな観音像を贈られた。人々は御堂を建てて信心したが、今から約 1400 年前、聖徳太子がこの地を訪ねられた際、観世音菩薩のお告げを受け、当寺を創建されたと伝えられている。

きのしたけじゅうたく 2. 木下家住宅



- 所在地 大阪市住吉区上住吉1丁目8番28号
- 登録年月日 平成24年3月30日
- 概要 「住吉街道」沿いに建つ大壁造りの漆喰壁の町家建築で、二階部分に虫籠窓が見られる。虫籠窓は角材に荒縄を巻いて土で塗り込んだもの。虫籠窓にはさまざまな説があり、防火目的と心理的な効果が狙いといわれている。また、二階造りの表を美しくみせるために生み出されたとも言われている。

あさざわじんじゃ 3. 浅沢神社



- 所在地 大阪市住吉区上住吉2丁目11番21号
- 登録年月日 平成24年3月30日
- 概要 住吉といえば「初辰まいり(はったつまいり)」が有名だが、初辰とは、毎月最初の辰の日のこと。この日に参拝すれば、より一層力を与えて守り助けてくれると信仰されている。商売発達のために遠方から訪れる人も多い。種貸社(たねかししゃ)、楠珞社(なんくんしゃ)、浅沢神社、大歳社(おおとししゃ)の四社をそれぞれにお参りするのが慣わしとなっている。古くからこの付近は池沼も多く、かきつばたの名所として万葉集にも詠まれた。平成9年(1997年)には、往時を偲ばせる「かきつばた園」が復活した。また、現存する柳は、古木ながら枝振りが隆盛で見るとしてエネルギーを与え続けているかのように、たくましさを感じる。

こくらくじ 4. 極楽寺



- 所在地 大阪市住吉区遠里小野5丁目11番2号
- 登録年月日 平成24年3月30日
- 概要 榎津寺(えなつでら)の極楽院が、この寺の前身とされているが創建は不明で、本尊の毘沙門天は信貴山の毘沙門天と同じ材といわれる。楠木正成の両親が本尊に子宝を祈願し正成が誕生し、そのお礼に正成が寄進したとされる、石灯籠(重要文化財)が境内に、また正成お手植えといわれる楠もある。

しんしゅうおおたには さいこうじ 5. 真宗大谷派西光寺



- 所在地 大阪市住吉区苅田6丁目10番5号
- 登録年月日 平成24年3月30日
- 概要 真宗東本願寺派の末寺で、的場山と号す。阿弥陀仏を本尊とする。的場才門太郎というものが、正安年間(1299-1301)浄土真宗に帰依し本寺を草創したと伝えられる。弘治年間(1555-1557)にいたって西光寺という寺号を称した。当時の住職浄円が中興の祖とされている。